



内藤礼《恩寵》2009(1999-)年 ピーズ、テグス 撮影：畠山直哉

と ころ

光のある場所

コレクションにみる 近現代美術の現実感

2013.12.14(土) – 2014.3.23(日)

開館時間：午前9時30分—午後5時(入館は午後4時30分まで)

休 館 日：月曜日(12月23日、1月13日は開館)、12月29日(日)—1月3日(金)

観 覧 料：一般700(600)円／20歳未満と学生550(450)円／65歳以上350円／高校生100円

※()内は20名以上の団体料金です。

※中学生以下と障害者手帳をお持ちの方は無料です。その他の割引につきましてはお問合せください。

※ファミリー・コミュニケーションの日：毎月第1日曜日(今回は2014年1月5日、2月2日、3月2日)は、

18歳未満のお子様連れのご家族は優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。

主催：神奈川県立近代美術館

神奈川県立近代美術館 鎌倉
The Museum of Modern Art, Kamakura

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-1-53 Tel.0467-22-5000
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>


The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama
神奈川県立近代美術館

From the Collection: Where There is Light

と　こ　ろ

光のある場所

コレクションにみる 近現代美術の現実感

From the Collection: Where There is Light

美術作品がひとつの視覚的世界として立ち現れるとき、これを「目に見えるようにする」のは、実在する外光と、作品の内なる空間を満たす光——色彩と明暗によって構成されるイメージであるといえます。

西洋の遠近法と陰影法による写実表現を「真に迫る」技として驚嘆をもって学び入れた高橋由一(1828-1894)、松岡壽(1862-1944)らにはじまる明治期の日本近代洋画から、黒田清輝(1866-1924)らが入り入れた外光派の柔らかな色彩、そして大正期の萬鉄五郎(1885-1927)や岸田劉生(1891-1929)が追求した鮮明な光。1930年代には、内田巖(1900-1953)が静謐なりアリズムに時代の不安な空気を、阿部合成(1910-1972)や三岸好太郎(1903-1934)が具象表現にシュールレアリスティックな感覚を帯びさせる一方で、谷中安規(1897-1946)や藤牧義夫(1911-1935)が木版画で「輝く闇」とも形容すべき幻想的な世界を描き出すなど、技法の成熟と時代の諸相を反映した、さまざまな「リアル」のかたちが展開しました。

さらに、カンヴァス上の平面全体を、光をめぐるイメージの実験場とした戦後の抽象表現主義から、空間そのものを作品とする現代美術の内藤礼(1961-)や青木野枝(1958-)まで、「光の現れ」に焦点を当てて当館のコレクション約80点を紹介し、近現代美術にみられる多様な現実感のありかたを考えます。



岸田劉生《初夏の麦畑と石垣》1920年　油彩、カンヴァス



川端実《作品B》1961年　油彩、カンヴァス



松本陽子《思考回路Ⅰ》2005年　油彩、カンヴァス



内田巖《トランプ》1934年　油彩、カンヴァス



藤牧義夫《彼等の集り》(『新版画』5)1932年　木版、手彩色、紙

【関連企画】
・ワークショップ
「光でえかく場所:色と線でフィルムに直接描く映画制作」
2014年3月9日(日)　午後2時～5時
講師:石田尚志氏(美術作家)
会場:神奈川県立近代美術館 鎌倉
要申込(詳細は当館ホームページをご覧ください)

・担当学芸員によるギャラリートーク
2014年2月1日(土)、3月8日(土)　各日午後2時より
申込不要、参加無料(ただし「光のある場所」展の観覧券が必要です)

※所蔵先表記のないものは当館蔵

【同時開催】
神奈川県立近代美術館 葉山　Tel.046-875-2800
「松本瑠樹コレクション　ユートピアを求めて　ポスターに見るロシア・アヴァンギャルドとソヴィエト・モダニズム」—2014年1月26日(日)
「柳瀬正夢 1900—1945:時代の光と影を描く」2014年2月11日(火・祝)—3月23日(日)

【優待料金のご案内】
「光のある場所」展有料観覧券(65歳以上券、高校生券を除く)の半券をご提示いただくと、同展会期中に限り葉山館で開催中の展覧会を優待料金でご覧いただけます。

【鎌倉館・鎌倉別館への交通案内】

- ◆ 鎌倉館
- ・公共交通機関利用の場合: JR横須賀線・江ノ島電鉄線「鎌倉」駅下車、徒歩約10分
- ・横浜横須賀道路利用の場合: 朝比奈インターチェンジから鎌倉霊園を経由して鶴岡八幡宮前へ約4km
- ◆ 鎌倉別館へは鎌倉館から県道21号線を北鎌倉方面へ徒歩約5分

鎌倉別館

近代彫刻の父と呼ばれるフランスの彫刻家オーギュスト・ロダン(1840-1917)による《花子のマスク》とその弟子エミール・アントワヌ・ブールデル(1861-1929)の《帽子を被った自刻像》、彼らから影響を受けた高村光太郎(1883-1956)、戸張孤雁(1882-1927)、中原悌二郎(1888-1921)らのほか、海外の20世紀彫刻からは、ジャン・アルプ(1886-1966)、アルベルト・ジャコメッティ(1901-1966)など、当館の所蔵作品から選りすぐりの彫刻作品と彫刻家による素描や版画、約40点を紹介します。併せて、チェコスロヴァキア出身の彫刻家ズビネック・セカール(1923-1998)の作品約20点による特集展示をいたします。



堀進二《壺を抱く女》1925年　石膏



中原悌二郎《老人の頭像》1910年　ブロンズ



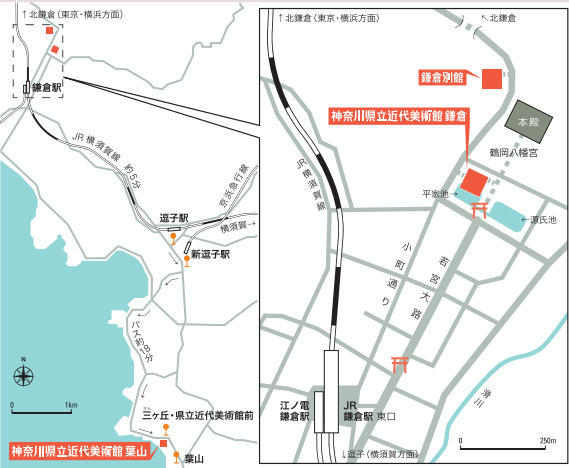
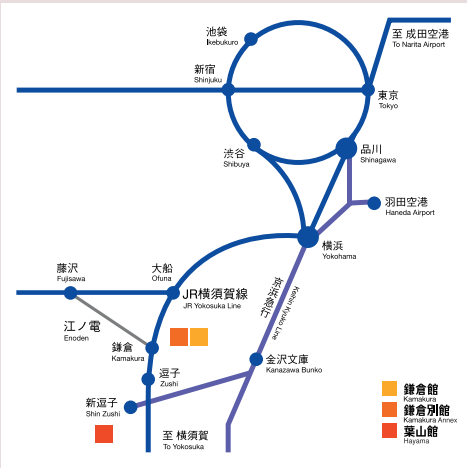
セザール《アニマル》1956年　ブロンズ　当館蔵/麻生三郎コレクション
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2013
D0359

ズビネック・セカール略歴

1923年　チェコスロヴァキア共和国(現チェコ共和国)プラハに生まれる。
1934 - 41年　ギムナジウムと技術専門学校で学ぶ。
1941年　ゲシュタポに逮捕され、マウトハウゼンの強制収容所に収監される。
1945年　解放される。
1950年　プラハの工芸美術学院を退学し、54年からブラティスラヴァに暮らす。
1952年　出版社に勤務。
1969年　故国を離れ、翌年からウィーンに居住。(～98年)
1972 - 74年　シュトゥットガルト美術学院で教鞭をとる。
1989年　初来日。
1998年　ウィーンにて没。

【関連企画】
・担当学芸員によるギャラリートーク
2014年2月15日(土)、3月15日(土)　各日午後2時より
申込不要、参加無料(ただし「ロダンからはじまる 彫刻の近代」展の観覧券が必要です)

※所蔵先表記のないものは当館蔵



神奈川県立近代美術館
The Museum of Modern Art,
Kamakura & Hayama
http://www.moma.pref.kanagawa.jp

鎌倉 Kamakura
〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-1-53 Tel.0467-22-5000
鎌倉別館 Kamakura Annex
〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-8-1 Tel.0467-22-7718



アルベルト・ジャコメッティ《裸婦小立像》1946年頃 石膏 当館蔵／宇佐見英治旧蔵
©Alberto Giacometti Estate / JASPAR in Japan 2013
D0359



オーギュスト・ロダン《花子のマスク》1908年(鑄造1974年) ブロンズ
ズビネック・セカール《居住》1959年 ブロンズ ギャラリーTOM蔵

ロダンからはじまる 彫刻の近代

特集展示 ズビネック・セカール Featuring Zbyněk Sekal

2013.12.14(土) - 2014.3.23(日)

開館時間: 午前9時30分—午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日: 月曜日(12月23日、1月13日は開館)、12月29日(日)—1月3日(金)

観覧料: 一般250(150)円／20歳未満と学生150(100)円／65歳以上と高校生100円

※上記は鎌倉別館のみ入館の場合です。鎌倉館の観覧券で、当日に限り鎌倉別館の展覧会を無料でご覧いただけます。

※()内は20名以上の団体料金です。

※中学生以下と障害者手帳をお持ちの方は無料です。その他の割引につきましてはお問合せください。

※ファミリー・コミュニケーションの日: 毎月第1日曜日(今回は2014年1月5日、2月2日、3月2日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。

主催: 神奈川県立近代美術館

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-8-1 Tel.0467-22-7718
The Museum of Modern Art, Kamakura Annex <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>


The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama
神奈川県立近代美術館

Modern Sculptures: Beginning with Rodin